



人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度 R I 会長

ジョン F. ジャーム

第2720地区ガバナー 前田 眞実
 第2720地区ガバナー-エレクト 永田 壮一
 大分第3グループガバナー補佐 小野 哲夫

第2720地区 大分第3グループ
別府東ロータリークラブ

例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：別府市観海寺 杉乃井ホテル
 事務所：別府市西野口1番1号
 〒874-0931 (青山通りビル3階)
 TEL (0977) 23-9000
 FAX (0977) 23-9019
 E-mail: info@beppu4rc.jp
 http://www.beppuhigashi-rc.jp/

会長 竹内 孝夫 幹事 一力 秀次
 広報委員長 瑞木 一博



第1824回例会

VOL. 38-No. 42 2017年6月1日

—ロータリー親睦活動月間—

- 点 鐘 12時30分
- ロータリーソング 君が代・奉仕の理想
- 唱 和

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

- ゲスト 千壽 智明氏
せんじゆ ともあき
 (濱海地獄 代表取締役社長/社別府青年会議所 九州地区大分ブロック協議会 大会運営委員長)

■ 会長の時間 会長 竹内 孝夫
 皆さん、こんにちは。会長の時間です。
 本日は先にお亡くなりになりました、別府商工会議所前会頭であり当別府東RCチャーターメンバーでした千壽健夫様の御子息である、(濱海地獄代表取締役社長 千壽智明さんから“父から子へー親子経営の絆”という題で卓話をしていただこうと思います。
 さて、私の会長任期もあと1ヶ月となりました。はじめは長く感じていましたが、後半は速く感じ

■ 出席報告		委員長 山下 唱徳	
本 日	会員総数	40名	ゲスト 1名
	出席数	26名	ビジター 0名
	欠席数	7名	出席率 78.79%
前々回の出席率		63.64%	修正出席率 78.79%
		100% 通算 1578回	
出席規定免除(b)：岩瀬、樽谷、幸、神田、西、檀上、坂本			
名 誉 会 員：西村			
■ メイクアップ			
事後 (第1822回例会) 石田、中塚、但馬 (別府)、高橋 (2720-JapanO.K.ロータリーEクラブ)			
■ 欠 席			
安部、渡辺、笠木、榊田、中塚、梅津、瑞木			

ることが多くなりました。

最後の業務として改善委員会－理事会を通じて若い会員も増えたこともあり、ロータリーの予算制度、経費削減、様々な規定設定の見直しを行って来ましたが、次年度、又その次の40周年に向かって改善していることを忘れずに実施していきます。

ただ、改善を進める中でもロータリーの変わらぬ信念、意義を伝えてほしいということで、6月22日に瑞木改善委員長、チャーターメンバーの樽谷会員をお願いして、新会員中心にロータリーについての卓話・研修を実施していきたいと思えます。

あと1ヶ月になりますが、宜しくお願い致します。

■ 幹事報告 幹事 一力 秀次

1. R I 第2720地区別府RCからのお知らせ

別府RCは耐震工事の為、1月20日～例会場をホテルサンバリーアネックスに代えて開催していましたが、6月9日(金)より「両築別邸」に戻りますので、お知らせします。

2. 5月27日(土)12:30～熊本学園大学14号館・高橋守雄記念ホールに於いて「2017-2018年度地区会員増強セミナー」が開催され、次年度久保田高史幹事、次年度工藤晴生会員増強委員が出席されました。

3. 第13回臨時理事・役員会報告(平成29年5月30日(火)＜持ち回り＞)

審議事項

1号議案)「会長・幹事慰労会」開催日変更の件

日 時 平成29年6月27日(火)18:30～

↓

平成29年6月26日(月)18:30～

場 所 ホテルサンバリーアネックス

※アンケート結果により上記日程に再度変更します。

4. 5月31日(水)11:30～ホテル白菊2Fボードルームに於いて「別府市内4RC新会長・幹事会」が開催されました。

出席者：荒金信治次期ガバナー補佐、長野勝行次期会長、久保田高史次期幹事

5. 例会変更のお知らせ

- 宇佐RC：6月15日(木)の例会は『職場訪問例会』の為、同日12:30～トキハインダストリー長洲店にて例会後、(株)九州フセラシに移動
- 別府RC：6月16日(金)の例会は『フレンドシップ例会』の為、同日18:30～両築別邸に時間変更
- 大分東RC：6月15日(木)の例会は『夜の例会』の為、同日18:30～ザ・ブリッジに時間・場所変更
- 大分1985RC：6月19日(月)の例会は『夜の例会』の為、同日19:00～割烹「にし岡」に時間・場所変更

6. 本日は、11:45～杉乃井ホテルに於いて「第12回定期理事・役員会並びに次年度(引継)理事・役員会」を開催しました。

7. 次週(6月8日)11:45～大分みらい信用金庫本店4Fに於いて「第7回クラブ改善委員会」を開催します。改善委員会委員の皆様は、ご出席よろしくお願い致します。

8. 次週(6月8日)の例会予定

「職場例会」

12:30～大分みらい信用金庫本店4F会議室
※駐車場がありませんので近鉄跡地の「トラストパーク」をご利用ください。

9. 本日の回覧

- ①「職場例会」出・欠席(6月8日)
- ②「第5回クラブ協議会(新・旧引継)」出・欠席(6月15日)
- ③「ロータリー勉強会例会」出・欠席(6月22日：ポリオランチの為、会場変更)
- ④「会長・幹事慰労会」(6月26日)出・欠席
- ⑤日韓親善会議参加申込み
- ⑥クラブ現況資料に掲載の「会員名簿校正原稿」
*訂正のある方は加筆してください。変更のない方は、✓印または、○印をご記入ください
- ⑦中津RC週報
- ⑧(幼)自衛隊家族会より防衛情報紙「おやばと」

10. 本日の配布

- ①ロータリーの友 6月号
- ②ガバナー月信 Vol.11
- ③週報No. 1822
- ④週報No. 1823

■ お 祝 い

会員誕生日 石田 啓三会員(6月1日)

■ ニコボックス

委員長 山下布美代

- 米国進出の記事並びにカーブミラー清掃の記事と新聞紙面を賑わせていらっしゃいます。御社の益々のご発展に！ 中塚会員、10口。
- 竹内孝夫会長 5月29日、当グループ株主総会が無事終わりました。昨年の地震もありましたがヤクルト・保育園部門のおかげで黒字決算となりました。又、6月10日よりピアガーデンのオープンと1階レストラン「プリマドール」がリニューアルします。よろしくお願ひします。5口
- 一力秀次幹事 加藤宮司より野球のレギュラーを外されましたので、自社で野球部を作りました。自社の野球部も監督にもしてくれず、名誉監督にされました。ガンバってレギュラーになりたいと思えます。3口
- 荒金信治会員 「上海・別府友好交流五人書画

展」に名誉会員の西村駿一別府市美術館館長と荒金信治（大琳）別府市美術協会長が出品しました。別府市長 長野恭紘様が「湧・湧」の作品も出品してくださいました。ありがとうございました。5口

- 石田啓三会員 先日、APU学長より表彰していただきました。大変ありがたいです。1997年

の開学準備より20年のお付き合いです。時々お忍びで京都に行っています。永いお付き合いがしたいです。5口致します。

- 高橋 郁会員 プライダル委員会の婚活パーティーでお騒がせしています。ご協力よろしくお祈いします。3口お祈いします。

父から子へ — 親子経営の絆 —

(資)海地獄 代表取締役社長 千 壽 智 明 氏



本日は、別府東RCに、私のような若輩の人間をゲストとしてお招き下さり、そしてこのような卓話という、何とも身分不相応な役割をお与え頂き、竹内会長をはじめ、会員の皆様、誠に有難うございます。その他各種団体でも面識のある方が多くて、少しほっとする気持ちと、逆に、私の

ことを見透かされている方もいらっしゃるの、緊張する部分も入り混じり、昨日は眠れない夜を過ごしました。

この東RCにも、いつか、数十年後にはお世話になる時がくるのかなど、本日はしっかりと勉強もさせて頂ければと思います。

さて本日の卓話テーマですが、「父から子へ — 親子経営の絆 —」と題しまして、別府東RCでも大変お世話になりました私の父親との思い出を軸に、改めて生前お世話になった感謝の気持ちを述べさせて頂くとともに、私のことも少し知って頂ければ幸いです。私が社会人になるまでの父との関係と、特に大分と一緒にお仕事をするようになってからの関係と、大きく2つに分けてお話をさせて頂きます。

まずは、私の生い立ちのお話を簡単にしますと、私は、父が52歳、母が41歳、兄が15、13歳の時に、千壽家の3男として生まれました。両親が高齢の時に産まれた子で末っ子ですから、それは、自分で言うのもおかしいですが、可愛がられたと自覚しています。

父は決して家庭的な人ではなかったの、兄2人の時は出産時立ち会わず、(確か麻雀をしてたらしいです)子を抱いたりしている姿をほとんど見たことがないと、母やその他関係各所の人が話していました。ですが、私の時は、嬉しそうに抱っこしながら海地獄の中を歩いたり、従業員に紹介したりと、今までにない顔が見られたようです。年が離れた息子なので、半分、孫のような気持ちもあったかもしれませぬ。有難いことに、とっても可愛がられて幼少期を過ごしたように思い出します。

私は今年で32歳になるのですが、32年間のうち18年間、つまり半分以上は東京に住んでおりました。幼稚園の途中から小学校、そして大学から会社員時代を東京で過ごした訳で、特に小学校の6年間は父だけを大分に残し、家族全員で東京に移り住んだ形になりました。決して、別居という訳ではないのですが、教育上の都合とか、兄が自立したタイミングであるとか、色々重なってこうなった訳です。

約20年位前ではありますが、その頃、父が別府でどのような生活をしていたか、詳しく知りませぬ。恐らく、毎晩どなたかしら食事等に多くお付き合い頂いたのではないかなと思います。要は、年が離れた父親で、しかも小学校の時は別々に暮らして、ほとんど会う事もなかったの、どこか遠い存在の父親という感情を持っていて、たまに会う時には可愛がられたの、温かい人という想いもあったように記憶しております。結果的に、生前、私が本気で父から叱られるという経験は1回もありませんでした。なので、兄2人は父に対する恐怖心であったり、緊張感を持って接していたのですが、私は全く遠慮なく、父と色々なことを話していたように思います。

そして、中学と高校は大分市の岩田学園という学校に進学して、別府でやっと親子3人で暮らすようになりました。しかし、ちょうどその頃、父が観光協会長に就任した頃で、公職の重責を担い始め、せっかく一緒に暮らし始めたのですが、父が家にいた記憶があまりありません。当時はどういうことかよく分かっていなかったのですが、きっと色々な会合等に日々忙しくしていたのだと思います。

ただ、父の重責、その恩恵にあずかったケースは多々ありました。当時読売ジャイアンツの長嶋監督と松井選手に直接お会いしたこともありましたが、中学の頃、大人気だった「モーニング娘。」のコンサートがあったのですが、その最前列のチケットを頂いたり、クリスマス花火で一般は駐車禁止の区域に車を止められたり、実態はおぼろげながら、とりあえず偉大な人なんだと、何かお祈いしたら何でも叶えてくれる超人のような人だと、ずっと思っ

おりました。

その後、東京の大学を経て、大日本印刷という会社で社会人としてのキャリアをスタート致しました。DNPという企業では、様々なバリューチェーンに関わる反面、多くの得意先との仕事を同時進行でこなさないといけない為、身を酷使しながら働く場面も多々ありました。しかしながら、最初の社会人生活が過酷であった分、組織としてどう動くかという点を根底から叩き込まれて勉強しましたし、多少のことで音をあげない精神的なタフさを身につけることができたと思います。入社3～4年目になれば、自分の思った通りの成果を上げられる部分も出てきて、結果的には本当に充実した時期だったと振り返っております。

東京での会社員時代を約6年間過ごして、別府に帰ることとなります。会社員時代は、父とは良き社会人としての相談相手というか、やはり人脈と知識は凄いものがあるなど尊敬しながら、今までの人生で一番、父子関係としてニュートラルに接した時だったなと思います。末っ子でしたので、当時は別府に帰るとは想像もしてなかったですし、白羽の矢がたった時は驚きつつ、抵抗も致しました。

別府へ戻ってきた当初は、自分の身の丈以上に周囲から氣遣われる所や、どんな奴なんだと推し量られているような所もあって、何とも居心地が悪くどう振舞えば良いのか悩んだ時期がありました。これは全て父の影響というものが甚大であったが故に、今まで何となく感じていた父の実態というものが、別府で同じ土俵にたった上で、ここまで大きな存在だったのだと痛感致しました。千壽さんの息子という言葉だけが一人歩きしているような感覚で、東京で自由気ままに会社員をしていた自分とのギャップに苦しんだのです。

一方で、別府での色々な場面で、私が初見の人に普通に挨拶をただけで「なんと礼儀正しい人なんだ」と父とのギャップで驚かれた場面もありました。私としては当然のこととして行動していることを必要以上に評価して頂いて、そういう所は少し得をしたような気がします。もう3年半経って化けの皮がはがれてしまってきているので、そろそろ本質も伴っていかねばと考えております。

私は海地獄で、父と計3年半、一緒に仕事をしました。私が戻ってきたころは、父は80歳になろうとしていて、気力、体力的にもピークを過ぎた頃であったかと思います。本音を言えば、精神的にも体力的にも最前線で活躍していた、若かりし頃の父と仕事をして、もっと別の面で多くのことを学びたかった気持ちもあります。

ただ、この時期に共に過ごした結果として、父が持つ大きな人脈で、本当に色々な人と出会える機会を提供して頂けたことは有難かったです。私個人としては相手にされないような方達でも、お話を聞いてもらったり、「智明くん」と気にかけて頂いたり、

それは全て父のお陰だと、亡くなった後も様々な場面でその尊さに気づかされました。

別府で仕事をするにあたっては、東京で感じた以上に人との繋がりというものが一番大切だと感じています。私も余程のことがない限り、生涯を海地獄とともに過ごすと思いますし、別府でご活躍されている多くの方も同じであると思います。別府市と運命共同体として、その地域と、地域にいらっしゃる方達との絆というものは、一番大切にしないといけないと実感しました。父はそこでの多くの出会いの機会と道筋を私のためにたくさん作ってくれたのだと、改めて心から感謝しております。

私は、社業の他に別府青年会議所に籍を置かせて頂いております。別府東RCにも多くの先輩方がいらっしゃいますが、人との繋がりという意味では、とって魅力的な団体だと心から思います。青年会議所では、懇親の場を大切にします。というより、別府市に戻ってきて、やたら懇親会が多いと感じました。少人数で飲みに行くというのであれば分かるのですが、100人規模の会がシーズンでは毎週のように開催されます。

私がよく覚えているのが、懇親会関連の出席については、父はやたら厳しかったということです。私自身にも、懇親会に出席して色々な人に挨拶してこい、という話はよくされましたし、最近あいつ休みがちだな、と他の人を評価している時もありました。総会とかには出なくても懇親会には出ろ、というタイプの人だったのです。私は、多数参加者がいる会では、私程度が来なくても誰も気づかないだろうと勝手に判断してしまうこともあったのですが、父のように見て判断している人はいますし、その結果、個人の評価にもつながってしまう時もあるのだと、勉強になったことを記憶しています。

最後になりますが、家族経営の絆という点で、1つ父からもらった言葉で印象に残っているものがあります。

温泉は地下水が約50～60年かけてマグマ熱で温められ地表に現れてきます。海地獄に噴出している温泉は約50年前から温められたものなのです。これは父ではなく、その先代である父の母、私にとっては祖母が守ってきたものなのです。私が生まれた頃、祖母はもうこの世にいませんでした。その祖母が、当時、開発が盛んであった別府市において、海地獄近隣の森林を保全することを目的として、一帯の土地を購入したそうです。温泉にとっての命は水です。その水を守るためにも、その周囲の森林を保全したとのことでした。

「ここは先代が守った自然であるから、次の、そのまた次の世代まで、海地獄を守り続けなければいけない。」

父の残した言葉を胸に、私自身しっかりと未来の世代へ、海地獄を守り、更に進化して紡いでいかなければいけません。その責務とともに、これからもしっかりと精進して参りたいと思います。